

LINE、テイクアウト事業に本格参入 テイクアウトサービス「LINEテイクアウト」を2019年春に展開

2018.10.02 ALL

事前注文から決済まで、LINEひとつで完結。余剰商品のマッチングも促し、「フードロス」撲滅へ

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、LINEを通じてあらゆる飲食店での注文が可能な世界を実現する「LINEオーダー」構想を立ち上げ、2017年7月からスタートしたフードデリバリーサービス「LINEデリマ」に続き、新たにフードテイクアウトサービス「LINEテイクアウト」を来年春に開始する事が決まりましたので、お知らせいたします。

LINEテイクアウト

2017年7月から展開を開始したフードデリバリーサービス「LINEデリマ」は、全国14,000店舗のフードメニューをLINEで手軽に検索・注文する事ができ、ユーザーと店舗との新しい出会いを創出し、LINEならではのシームレスな購買体験を提供しています。現在、会員数は、650万人を突破、取扱高も昨年対比344%増で、右肩上がりでも推移しており、特に20代の女性ユーザーを中心に老若男女問わず、多くの方にデリバリーをお楽しみ頂いております。*1

*1: 2018年6月末時点

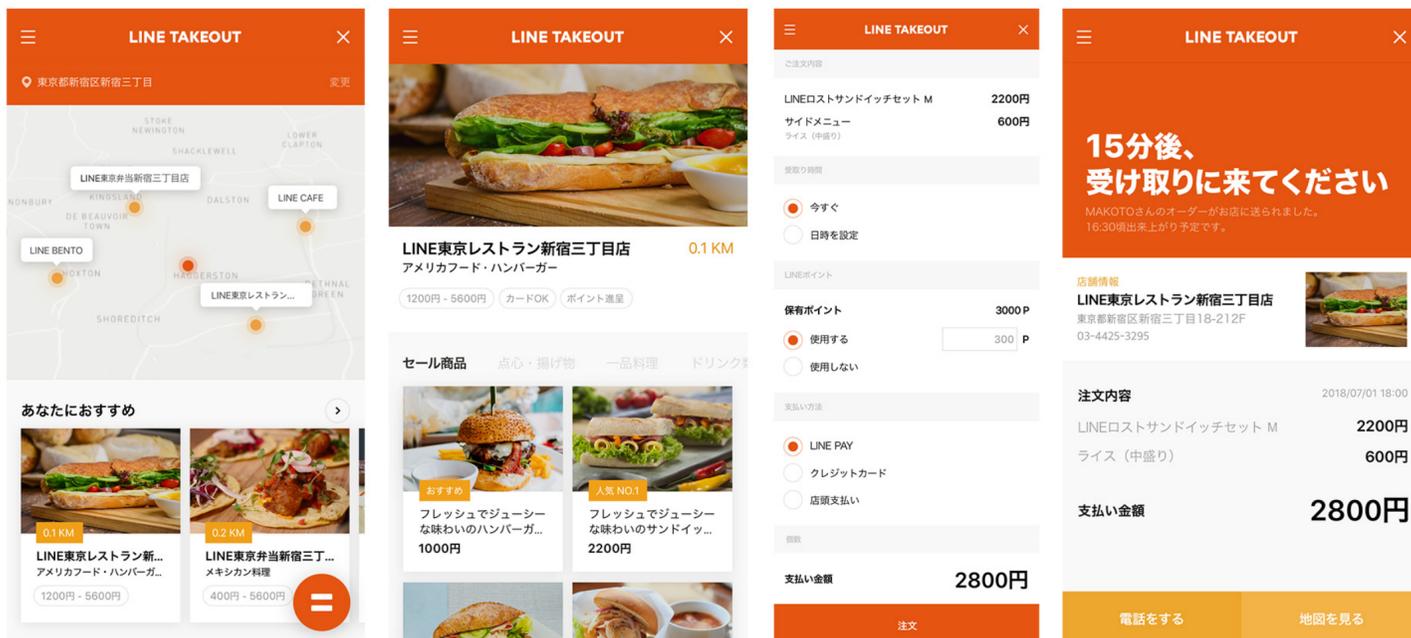
今年の6月に、大手ファーストフード店で、LINEデリマの公式アカウントを利用してテイクアウトクーポンの訴求を行った所、通常のLINEデリマで使用できるクーポン訴求に比べ、コンバージョン率が上昇し、LINEがテイクアウト訴求にも非常に有効である事がわかりました。

昨今の飲食・食品業界を取り巻く環境は、配送費の高騰や配送人員の減少、さらに年間で食品廃棄物が約621万トンに及ぶと言われる食品ロス問題*2など、様々な課題を抱えています。

*2: 農林水産省及び環境省「平成26年度推計」より

そのような課題を解決していくために、LINEでは、デリバリーやテイクアウトサービスを足がかりに、LINEを通じて、あらゆる飲食店への注文が可能となる世界を目指す「LINEオーダー」構想を展開するとともに、月間7,600万人が利用しているユーザー基盤と、ユーザーごとに適した情報提供ができるLINEの特徴を活かしたテイクアウトサービス「LINEテイクアウト」を2019年春よりスタートいたします。

「LINEテイクアウト」は、ユーザーが現在いる位置に応じて、近隣のレストランを検索・事前注文ができる他、スマホのおサイフサービス「LINE Pay」やクレジットカード決済を利用して、LINE上で注文から決済まで完結することができます。さらに、限定のタイムセール情報など、お得な割引情報を受け取る事ができるだけでなく、「LINEテイクアウト」で注文することに「LINEポイント」を受け取ることができ、貯まったポイントは1ポイントを1円として「LINE Pay」で使用できるため、よりお得にテイクアウトサービスをお楽しみ頂く事ができます。



「LINEテイクアウト」に登録しているレストランやお惣菜店舗は、想定外のできごとや急な予約のキャンセルなどによって余剰商品が発生した場合でも、「LINEテイクアウト」のタイムライン上でタイムリーにディスカウント情報を告知する事ができ、食品ロスの軽減へも繋げる事ができます。

「LINEテイクアウト」は、2019年の春に展開を開始予定、2020年内中に掲載店舗30,000店を目指してまいります。事業開始のお知らせ、並びに本事業の詳細については追ってプレスリリースにて発表いたします。

■LINEテイクアウト：<http://official-blog.line.me/ja/archives/77127435.html>

